景気ウォッチャー調査
（沖縄地域）
～2025年5月調査～

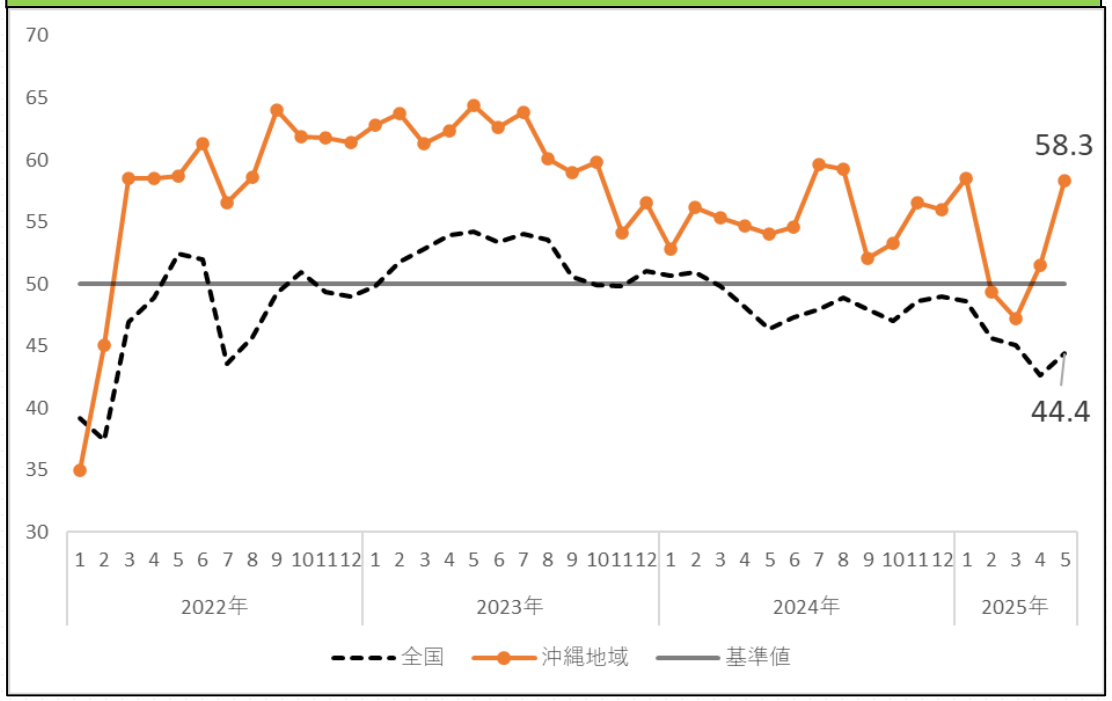
観光客と県内需要の増加により現状判断DI値が２か月連続で好況
７月開業予定の大型レジャー施設に観光需要増加の期待感

一般財団法人　南西地域産業活性化センター

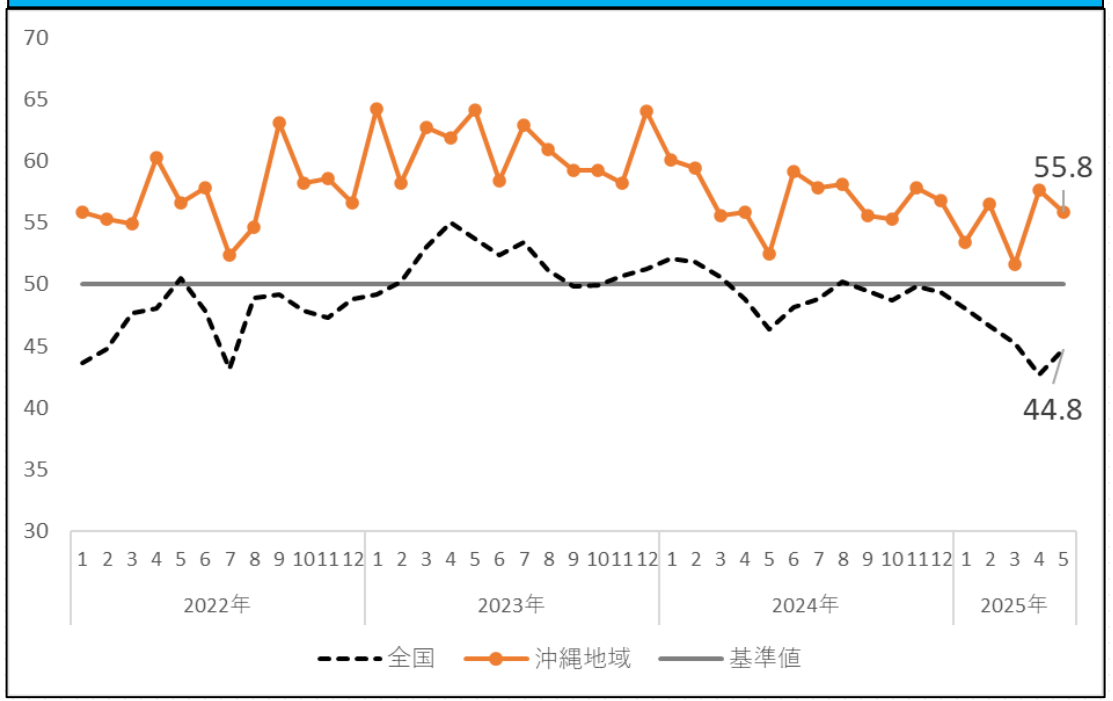
2025年5月調査DI値（季節調整値）

- 5月の現状判断DI（季節調整値）は、前月比6.8ポイント増加の58.3となっている。沖縄地域のDI値が2か月連続で50を上回り、好況に転じた。
- 5月の先行き判断DI（季節調整値）は、前月比1.8ポイント減少の55.8となり、下降に転じている。判断基準の50を上回っていることから2～3か月後の景気動向は好況が続く見通し。
- なお、全国の現状判断DI値は44.4、先行き判断のDI値は44.8と共に上昇したが、判断基準となる50を下回り、不況傾向が続く。

現状判断DI値（季節調整）



先行き判断DI値（季節調整）



現状判断のコメント①

- 「家計動向関連」では、国内や海外の観光客が引き続き増加傾向にある。また、ゴールデンウイークの影響によりファミリー層などの県内需要も増加したことが、現状判断DIを大きく上昇させた要因と考えられる。
- 加えて、例年に比べ梅雨入りが遅れたことで来客数の増加や、インバウンドなどの物価上昇による値上げの影響を受けない消費者の存在により、現状判断が上昇したと考えられる。
- 一方、物価上昇において客単価は上昇しているが、客数が減少傾向にあるなど需要減少の要因となっている。

＜家計動向関連＞

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、X：悪くなっている

◎	一般小売店［土産］	• 国内やインバウンドなどの入域観光客が増加している。
○	百貨店	• ゴールデンウィークでファミリー層とインバウンド客が増加している。
○	スーパー	• ３か月前と比べると、来客数が増えていることから、身の回りの景気はやや良くなっている。その要因として、ゴールデンウィークによる需要増加と、例年より梅雨入りが遅かったことで人々の外出が促され、経済活動に良い影響を与えているとみている。
○	観光型ホテル	• 販売価格の上昇傾向が続いており、値上げを行っているが消費者は離れていない。
□	コンビニ	• 観光客の増加に伴い、来客数も増加している。また、梅雨入りが遅れた影響で雨の日が少ないことが、前年同期よりも来客数が増加した要因となっている。
▲	スーパー	• 物価上昇により客単価は上がっているが、来店頻度が減っている。売上は客単価の上昇により、前年比で辛うじて変わりないが、見通しは良くない。特にし好品に対する支出が控え気味である。

現状判断のコメント②

- 「企業動向関連」では、県内の建設関連において、公共工事やマンション、事務所の民間工事が好調である。食料品製造業においては、観光需要の増加により食品需要も増加しているが、米やその他食品の値上げによる影響が懸念される。
- 「雇用関連」では、2027年卒の新卒採用に向けた動きが活発になっている。人材派遣などにおいては、依然として人手不足が続いている。一方、求人情報関連では、例年ゴールデンウィークの影響により求人需要が減少するところ、夏場の繁忙期に向けた人材確保の動きが活発となっていることから、北部の大型レジャー施設の開業に併せて需要の増加を見込んでいることが伺える。

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、X：悪くなっている

＜企業動向関連＞

○	窯業土石業	• 見積依頼を３か月前と比較すると、公共工事は若干増加傾向であるが、民間工事は横ばいの状況である。
○	建設業	• 既存先だけでなく新規先からもマンションや事務所建設の見積依頼がきている。
□	食料品製造業	• 観光客の増加により、観光及び業務関連の食品需要は増加しているが、米価格を始め食品の値上げの影響によりスーパーでの需要の動きが鈍い。

＜雇用関連＞

○	学校［専門学校］	• 前月に増して2027年卒向けのインターンシップの案内を受けている。
□	人材派遣会社	• 求人数に対して応募者が少なく、人手不足が続いている。
□	求人情報誌製作会社	• ５月はゴールデンウィークの影響により、サービス業界においては繁忙期に当たるため、求人需要の減少を予想していた。しかし、夏場の繁忙期に向けた人材確保の動きが活発であったため、求人件数は３か月前の水準を維持している。

先行き判断のコメント①

- 「家計動向関連」では、大型レジャー施設による観光客増加や関連産業への波及効果により、県内の景気が良くなるとの期待が高まっている。特に、小売コンビニやスーパーなどは、レジャー施設に向かう道中での需要増加への期待が高い。
- 一方、依然として物価高の影響が続くとみられており、携帯料金などの毎月の利用料や出張旅費関連などの費用を抑えるなど、県民需要の減少を懸念しているコメントもみられる。

＜家計動向関連＞

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、X：悪くなっている

○	スーパー	• 政府による電気、ガス料金の補助が７月から３か月間実施され、夏休み期間の観光需要が見込まれることに加えて、大型レジャー施設の開業を迎えているため、２～３か月後の景気はやや良くなるとみている。
○	コンビニ	• 観光客の増減に大きな影響を受ける立地に店舗があるため、北部のレジャー施設開業などの影響により、景気はやや良くなるとみている。
○	その他専門店［書籍］	• 大型レジャー施設の開業で沖縄が更に注目され、観光客が増えるとみている。
○	その他サービス［レンタカー］	• 先行きの受注状況は前年並みで推移しているが、７月の大型レジャー施設の開業以降は受注が伸長しており、今後も続くと見込んでいる。
□	コンビニ	• 大型レジャー施設の開業や観光客の増加などにより、来客数の増加を期待している。
□	通信会社	• 物価高騰が影響しているとみている。財布のひもは固く、必要最低限の出費を考えている客が多い。毎月の利用料を抑える傾向が強くなっている。
▲	旅行代理店	• 出張旅費規程の見直しを行っている企業も増えているが、実際にはそれを超える費用の増加率となり、物価上昇と企業のコスト削減目標のバランスがかい離しすぎているため、結果的に出張が減少している。

先行き判断のコメント②

- 「企業動向関連」では、食料品製造業において、夏の観光シーズンやお中元に向けた食品関連需要の増加が見込まれている。また、備蓄米の流通拡大により、米価格も低下傾向にあることから、観光シーズンの食品需要の増加が期待されている。
- 「雇用関連」では、2027年卒向けのイベント増加により新卒市場が活発化することが期待されている。一方、人材派遣会社や求人情報誌政策会社などからは、物価上昇による賃上げが追い付かないことや観光シーズンをピークに求人の減少が予測されることから、先行きに懸念を抱いている。

＜企業動向関連＞

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、X：悪くなっている

○	食料品製造業	• これから夏場の観光シーズンやお中元商戦に向け、食品関連需要の増加が見込まれる。
○	広告代理店	• 県外あるいは海外企業との競争に勝ち抜くことが求められている地元企業のなかで、ある程度の資本力がある企業に、マーケティング予算を積極的に投下することを期待している。

＜雇用関連＞

○	学校［専門学校］	• ６月以降に2027年卒向けの合同説明会が行われ、ますます企業と学生共に動きが活発になるとみている。
□	人材派遣会社	• 今後も物価上昇が続き、賃上げ等がない限り景気は良くならないとみている。
▲	求人情報誌製作会社	• ２～３か月後には観光シーズンがピークを迎える。多くの企業では既に春から現在にかけて、アルバイト、パート、正社員の採用をしているため、追加の求人数が減少するとみている。

＜用語の説明＞

【景気ウォッチャー調査】

- 地域の景気を観察できる立場にある人々から、統計指標だけでは把握できない顧客の様子など日々感じている街角の景気動向を迅速に把握するため、毎月実施されている調査。

【DI値】

- 物価などの景気変動に関する複数の指標から、景気の方向性や各経済分野への波及度合いを示す。値が50を上回る期間が多いと景気が好況傾向にあり、50を下回る期間が多いと不況傾向にある。

【季節調整値】

- 季節的な要因で毎年同じような動きをするもの（夏になるとアイスクリームが沢山売れるなど）があることから、前月や前々月と比較する際に季節的な要因を除いた数値。

【現状判断(景気の方向性)】

- ３か月前の景気状況と比較した、今月の身の回りの景気の具体的な状況などの説明。

【先行き判断】

- ２～３か月先の身の回りの景気を今月の景気と比較した際の判断理由。

※本資料は、2025年6月9日に内閣府が公表した「景気ウォッチャー調査」をもとに作成しています。詳細な結果は下記URLからご確認ください。
https://www5.cao.go.jp/keizai3/2025/0609watcher/menu.html